

新潟県立長岡聾学校

きこえ通信

<https://nagaokarou.nein.ed.jp/>

当校 HP に
も掲載中!

新潟県立長岡聾学校 通級指導教室

〒940-0093 長岡市水道町 2-1-13

TEL 0258-38-0210 (通級指導教室)

FAX 0258-39-5665

※電話は 18 時までをお願いします。メールご利用ください。↓

e-mail school@nagaokarou.nein.ed.jp

発行：令和 7 年 10 月 令和 7 年度 第 6 号

難聴がある場合の入試での合理的配慮について



配慮なし

平等だが左の子は見えない。

公正 全員が見える。

←
TEENS
作成

難聴があると、入試でのリスニングや注意事項の放送などで困ることがあります。今回は、全員が同じスタートラインに立てるような、入試での合理的配慮の申請について情報提供します。

入試の特別措置(合理的配慮)について(県立高校を例として)

*新潟県立高校入試の募集要項では、合理的配慮は「特別措置」と表記されています。

特別措置の内容が新潟県の HP に下記のように掲載されています。難聴がある生徒は補聴器の使用、別室受検、放送の文字での提示、座席の配慮などが対象となります。別室受検等、日頃の定期考査などで実施している配慮内容が反映されますので、ギリギリになって考えるより、入学時から定期考査の受け方について相談、実施することを在籍校へお伝えしています。特別措置の申請には診断書なども必要なので、9 月から 11 月くらいに受診できるよう、前もって相談しています。また、申請しても全部許可されないこともありますし、以前は他地域、当校ともに「座席の配慮」をお願いしていても、感染状況の影響でお願いしたとおりにならず、当日びっくりしたことがあったそうです。でも、受検した生徒は落ち着くよう自分に言い聞かせ、乗り切ったとのことでした。努力してきたのだから何があっても大丈夫と思って臨んでほしいと思います。

中 3 の生徒とは、どう申請するか相談し(相談の上申請しなかった生徒もいます)、在籍校の先生と連絡を取り合います。当通級では高校入試の特別措置について、10 月中に在籍校に関係資料を送らせていただき、在籍校訪問でも情報提供をする予定です。不明な点がありましたら、通級担当までお問い合わせください。



私立高等学校等(主に専願)に関しては、各校へ特別措置について確認が必要となります。特別措置の内容は、学校や受検方法などによってそれぞれ異なります。

県立中等教育学校も県立高校と同様の手続きとなります。県 HP の募集要項に用紙等が記載されています。

高等専門学校(高専)も同様の合理的配慮を行っています。詳細は HP をご確認ください。県立高校より時期が早いです。

特別な配慮を必要とする者の受検上の措置の実施状況

新潟県 HP より

※表中の数字は、受検者数を表す。

特別措置の項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
① 別室受検 ※ () 内は英語のみ実施の内数	113 (3)	64 (4) * 2	77 (3)
② 英語の聞き取りの口唇読み取り	0	1	1
③ 車椅子、車椅子用机の使用	1	0	1
④ 検査問題の拡大	4	3	1
⑤ 拡大鏡 (ルーペ) の使用	0	1	2
⑥ 検査時間の延長	4	5	6
⑦ 検査問題の読み上げ	2	0	1
⑧ 検査問題にルビをつける	3	8	7
⑨ その他 * 1	69	73	81

* 1 その他の主な項目

座席の配慮、補聴器やロジャー(デジタル補聴支援システム)の使用、説明等の視覚情報の保障ハンカチやタオル・粘着紙等の使用、休み時間の血糖値測定・インスリン注射 など

入試をきっかけに、改めてきこえについて「自分は何が苦手でどのように助けてほしいか」を相手の方が分かってくれるように、丁寧をお願いすることができるようになってほしいと思います。今すぐに、100%できる必要はありません。「～を貸してください」、「今、何て言ったの?」などちょっとしたことで良いと思います。周囲の人が気持ちよく助けてくれるように、お礼もきちんとと言えると思います。

自分のきこえをどう伝えていくかということについては、次の通信で情報共有したいと思います。

入試の配慮はありますが試験問題、採点基準は他の人と同じ！まず大切なのは「学力」です！勉強の習慣も大切です！

高校卒業後の進路例については、R7.8・9月のきこえ通信にも紹介しました。
個々の相談等は当校へご連絡をお願いいたします。



次のような学習への取り組みも話しています。

○特に中3は、模試を会場で受けよう。

自分の現在の学力などが分かるだけでなく、本番に近い雰囲気、どの場所がどのようなきこえか、実感できます。模試ではほとんどの生徒が座席の支援無しに受けていますが、逆に考えると、聞き取りやすい座席であることが自分には大切だと改めて感じるができると思います。

○苦手な教科への取り組み方を考えよう。*次のような方法で効果があったという生徒の話を共有しています。

◇単語カードのような形式で、理科や社会の内容を覚える。◇イラストや漫画になっているもので、大体的内容を知る。◇YouTubeで学習の進め方、理解しにくいところを確認する。◇英語の教科書などを繰り返し音読する。◇英語の文法は、教科書の巻末の資料で学習する。◇分からないところは教科書で確かめる。◇数学は、つまづいているところまで戻って学習する。◇家庭学習も大事だが授業をしっかりと聞く。◇英語一般動詞の過去形、過去分詞などは、確実に覚える。



きこえエール新潟 第2回勉強会について

「NPO法人きこえエール新潟」は、新生児聴覚検査で「要精密検査」といわれたり、難聴と診断されたりした赤ちゃんのご家族を支援するNPO法人です。今回ご案内をいただいた勉強会は次の通りです。

日時:令和7年11月3日(月・祝) 14:00~15:30(受付13:30~)

会場:長岡市 ハイブ長岡 2階会議室D、E(会場定員50名)

*その後、オンデマンド配信 12月1日(月)から1月5日(月)まで(質疑応答を除いたご講演のみ)

内容:「CODA(コーダ:きこえない・きこえにくい親をもつ、きこえるこどものこと Wikipedia より)として生まれて」

★詳細、お申し込みは、きこえエール新潟 HP よりお願いいたします。↓↓↓

<https://k-yell-hp.normanet.ne.jp/index.html>



県教委より委託されたきこえの研修会を行います。

各校に案内が届いていると思いますが、県教委からの委託で難聴に関わる研修会「耳やきこえに関する理解研修会」を当校主催で行います(対象:教員、市町村子ども課等)。11月6日(木)の15:30~17:00、zoomによるオンラインで、上越教育大学の坂口嘉菜先生からご講演いただきます。難聴に関する研修は少ないので、この機会に視聴していただければと思います。ご参加をお待ちしています。12月以降をめぐりに、講演内容を期間限定でYouTube配信の予定です。こちらもご利用ください。